

TIC NEWS

vol. **129**
2018.10

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5
インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail: tic@tic-toyama.or.jp

URL: <http://www.tic-toyama.or.jp>



～とやま国際塾～

今年で17回目の開催となった“とやま国際塾”。県内の高校生、海外技術研修員、留学生などが参加し、楽しい夏の思い出となりました。

とやま国際塾

日 時：平成30年7月15日(日)～16日(月・祝)
場 所：呉羽青少年自然の家他

2日間にわたり、県内高校生を対象として開催した“とやま 国際塾”。17回目を迎えた今年度は、県内33名の高校生と、7か国16名の留学生、海外技術研修員等が参加し、お互いに交流を深めました。

初日はみな緊張している様子でしたが、自己紹介ゲームや人間知恵の輪、グループディスカッション等を通して緊張が和らいだ後は、お互いの国について質問をしたりして、だんだんと積極的にコミュニケー



ションができるようになっていきました。

午後からは、アメリカ出身のALTで城端麦や節の地方衆でもあるChris Brown氏を講師に迎え、異文化で生活すること、新しいことにチャレンジする大切さについて英語でお話しいただきました。高校生にとっては、1時間以上のネイティブスピードでの英語講演は大きな挑戦となりましたが、「聞いているうちにだんだんと耳が慣れていく体験ができた」、「自分もいつか海外で活躍できるようにになりたい」、

といった感想も多く見受けられ、非常に心に残る講演となったようでした。講演の最後には、三味線で麦屋節やこきりこ節の演奏もしていただき、会場は一体となって盛り上がりました。

2日目はJICA国際協力推進員の船木愛氏にJICAの事業や国際協力についてお話しいたき、その後SDGs（持続可能な開発目標）に関するグループワークを行いました。日本、そして各国の参加者それぞれの視点から国際協力について意見を述べ、各国の違いや共通点等の理解を深めました。また、青年海外協力隊としてサモアで活動された下村晃世氏



下村 晃世氏

氏を講師に迎え、お話しいたきました。現地で撮影された写真を使用しながら、サモアの歴史や社会背景などについて説明され、国際協力を通じた異文化理解の面白さや、共生・協働作業することの面白さについても語っていただきました。高校生からは、将来、協力隊に参加したいという意見が多く聞かれました。

この2日間を通して高校生からは「いろんな国の人と交流ができ、いろんな国の文化を知ることができた」、「英語を話す機会をもてた」、「外国人だけではなく他校の学生とも交流できた」との感想が聞かれるなど実りある2日間となったようでした。

平成30年度外国人のための日本語ボランティア養成講座

氷見

日時：平成30年8月18日(土)～10月6日(土)
全5回 10：00～12：00

場所：氷見市いきいき元気館

※9月1日のみ氷見市中央公民館

講師：日本語教育機関 トヤマ・ヤポニカ



滑川

日時：平成30年8月25日(土)～10月27日(土)
全5回 10：00～12：00

場所：滑川市民交流プラザ

講師：日本語教育機関 トヤマ・ヤポニカ

TICでは、今年度は氷見市と滑川市の2会場において、地域の日本語教室などで外国人の日本語学習を支援していたくボランティアを養成する「外国人のための日本語ボランティア養成講座」を実施しています。

各会場には、地域や仕事で外国人と関わる機会が増えているという方、自身が海外で生活していたという方など、さまざまな世代や経験をお持ちの受講生が数多く集まり、初回から活気ある雰囲気になっていきます。

講座では、実際に県内で日本語を学習している外国人との対話による実習を行ったり、地域の日本語教室で活動している方から話を聞いたりするなど、全5回にわたり日本語ボランティアとして求められる知識やスキルを身につけていきます。

とやま外国人活躍セミナー（ベトナム編）

日時：平成30年9月15日(土) 15：00～16：30

場所：環日本海交流会館

ゲストスピーカー：トラン ディン トゥン氏（ベトナム・ナムディン省出身）

司会進行：宮田 妙子氏（NGOダイバーシティとやま代表理事）

参加者：24人（日本人17人、ベトナム人6人、中国人1人）

外国人住民に地域社会でもっと活躍してもらうことを目的とする、とやま外国人活躍セミナーについてはブラジル編に続いてベトナム編を開催しました。県内在住ベトナム人の方々と一般県民の方々に参加いただき、日本で暮らすベトナム人が抱える悩みや課題を共有しました。

今後、10月に問題を解決するための事業案を考え、11月10日(土)に来年度に向けた事業を発表する予定にしています。

また、今年度はさらに、パキスタン編を予定しています。



災害時外国人支援ボランティアの養成

1 やさしい日本語研修

日時：平成30年7月7日(土) 15:00～16:30

場所：氷見市いきいき元気館

講師：要門 美規氏（日本語教育機関トヤマ・ヤポニカ）

災害時に使われる日本語を外国人にもわかる「やさしい日本語」に置き換える訓練を行いました。

「やさしい日本語」とは、外国人をはじめ、年配の方など誰にでも伝わるわかりやすい日本語のことです。東日本大震災や熊本・大分地震で災害情報を伝える際にも使われました。

講座では、講師による指導のもと災害時に使われる日本語を外国人にわかる「やさしい日本語」に置き換える実習を行いました。「高台→高いところ」、「危険→あぶない」、「避難所→みんなが逃げるところ」などの翻訳作業に取り組んでいただきました。



2 多言語翻訳研修

日時：平成30年7月14日(土) 15:00～16:30

場所：氷見市いきいき元気館

講師：富山県国際交流員

英語、中国語、韓国語の3つの言語グループに分かれて、多言語表示シート作成ツール(自治体国際化協会作成)を使って災害時の日本語の訳文対比を確認しながら、東日本大震災時に実際に使用された情報(公益財団法人仙台観光協会提供)を各言語に翻訳する実習を行いました。



自治体職員等担当者向け災害時外国人支援研修

日時：平成30年7月26日(木) 13:30～17:00

場所：(公財)とやま国際センター

講師：田村 太郎氏（(一財)ダイバーシティ研究所代表）

要門 美規氏（日本語教育機関トヤマ・ヤポニカ）

(一財)ダイバーシティ研究所代表の田村太郎氏を講師に迎え、災害発生時に、日本語が不自由な外国人住民を支援するための情報提供のポイント等を学ぶ研修会を実施しました。

外国人住民が被災した場合に必要な情報を伝える機関のひとつとして「災害多言語支援センター」があります。研修では、講師から災害多言語支援センターの主な役割について説明いただいた後、受講者には、実際に避難所で使われた情報などをやさしい日本語に翻訳する実習に取り組んでいただきました。



講師の田村氏

災害時外国人支援のための防災訓練事業

2018年は7月豪雨、台風第21号、そして北海道胆振東部地震など相次ぐ自然災害に見舞われ、今まで以上に防災対策の必要性を認識させられることになりました。とやま国際センターでは災害時の外国人支援のための防災訓練事業に取り組んでいます。日頃の備え、連携を深め、災害に強い富山を目指したいと考えています。



災害時の外国人支援のための広域連携防災研修、富山県総合防災訓練

災害時の外国人支援のための広域連携防災研修in富山県

日時：平成30年7月29日(日)

10:00～16:00

場所：富山県広域消防防災センター

講師：八木 浩光氏

(熊本市国際交流振興事業団事務局長)

宮田 妙子氏

(NGOダイバーシティとやま 代表)



大規模災害が発生した場合、県境を越えた災害支援活動の重要性が指摘されています。今回、富山県で大地震が発生したとの想定で東海北陸地域国際化協会連絡協議会の「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書」に基づいて、石川県、福井県から派遣された災害ボランティアを受け入れる訓練を行うとともに、3県合同による研修を実施しました。

午前の研修では、熊本市国際交流振興事業団事務局長の八木浩光氏を講師に迎え、「熊本地震での外国人被災者の課題と支援」について講義いただきました。午後の研修ではNGOダイバーシティとやま代表の宮田妙子氏を講師に迎え、避難所体験に関するワークショップを実施していただきました。また、高岡中央赤十字奉仕団の協力による炊き出しのほか、四季防災館における地震などの災害体験も行いました。

富山県総合防災訓練

日時：平成30年9月2日(日)

10:00～11:30

場所：氷見市

講師：土井 佳彦氏

(NPO法人多文化共生

リソースセンター東海代表理事)



「邑知潟断層帯を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、氷見市、高岡市で震度7を観測し、津波注意報が発令され、多数の倒壊家屋及び火災、山間部において土砂崩れが航空機からの情報により確認された」という想定で実施された富山県総合防災訓練に参加して、災害多言語支援センターの設置・運営の訓練を実施しました。

訓練では、NPO法人多文化共生リソースセンター東海代表理事の土井佳彦氏を講師に迎え、氷見市を中心とする災害ボランティアに、災害情報の翻訳作業や避難所巡回によるニーズ聞き取り作業等に取り組んでいただきました。

“いつか世界を変える力になる”

～世界を変えてきたのは、いつの時代も、たったひとりの強い想いだ～

2018年度JICA海外協力隊秋募集が始まります！

募集期間：平成30年10月1日(月)～11月1日(木) ※正午締め切り

※「青年海外協力隊」をはじめとする「JICA海外協力隊」（従来のJICAボランティアという総称から変更）が新たな制度のもとに始動します！

JICA海外協力隊とは、開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献する活動を行なっています。開発途上国からの要請によって、職種や業務内容も様々なものがあります。

詳細については、ウェブサイトをご覧ください。

応募は原則ウェブ応募です。募集要項に加え、説明会キャラバン、WEB説明会、OB/OGのビデオ相談、活動体験談等の案内が掲載されています。

職種 農林水産、土木建築、保健衛生、教育文化、社会福祉、観光・商業、スポーツなど多種
☆富山県デスクでは、個別相談を受け付けています。（9：00～17：45）

来訪の際は、事前にお問い合わせください。

【応募に関するお問い合わせ・相談窓口】

・JICA 富山県デスク（担当：船木）電話：076-464-6491 E-mail:Funaki-Ai@jica.go.jp
*JICA 海外協力隊ウェブサイトはコチラ → <https://www.jica.go.jp/volunteer/>



今回はセネガルから届いた青年海外協力隊員 安川 依希子 さんからの便りをご紹介します。

早朝、フライング気味の鶏の鳴き声で目が覚めるも、もう1度眠り、そのうち近所の家族が朝ごはんの準備をする音で目が覚める。家を一歩出た瞬間、四方八方から「ビンター！！（セネガル名）」と、私を呼ぶ声がある。こんなクールメディアベルでの毎日が、今では私の日常になっています。公用語はフランス語とされていますが、任地では現地語の方が多く話されています。未だかつて感じたことのない大きな言語の壁、宗教の違い、任地の人との距離の詰め方に戸惑い、悩んだ時期が長かったように思います。

私は環境教育の職種で派遣されていますが、任地の生活環境で必要とされている事はなんだろうか、と当初は悩みもしましたが、現在は、小中学校やコーラン学校での環境啓発活動を軸に活動しています。

日々の暮らしで愛想笑いをしがちな私ですが、セネガル人の腹の底からガハハと笑う姿、他愛もない会話にいつもお腹から笑わせてもらっています。外国人が少ないこの地で、日本人である私を理解することは容易ではなさそうですが、セネガルを知ろうとする姿勢を今後も続けることで、彼らも日本や異文化に対する理解を深めてくれたら嬉しいです。



安川 依希子さん

派遣国：セネガル
職種：環境教育
派遣期間：2017年7月～2019年7月
配属先：クールメディアベル市役所

Voices from the world

～イギリス ブライトン市～

世界の富山ファンからのメッセージ

清河 幸子 さん（名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授）

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. 認知心理学の研究と教育に従事しています。「認知心理学」とは、頭の働きに関して心理学的にアプローチする領域ですが、私は特に「人が新しい発想をするにはどうしたらよいか」ということに関心を持ち、実験を主たる手法として研究を行っています。

Q. 近況について教えてください。

A. 今年度は1年間の「特別研究期間」の制度により、授業の担当や会議への参加が免除されているので、4月17日からイギリスのイースト・サセックス (East Sussex) 州のファルマー (Falmer) にあるサセックス大学 (University of Sussex) の心理学部 (School of Psychology) に訪問研究員 (Visiting Senior Lecturer) として滞在しています。来年の2月末まで滞在し、以前からの共同研究者であるZoltán Dienes教授とともに研究を行う予定です。現在は秋から始まる新学期のスタートとともに、実験が始められるよう準備を行ったり、論文を執筆したりしているところです。

また、住まいはロンドンから電車で1時間ほどのところにあるブライトン (Brighton) にあるのですが、「地の利」を生かして、イギリス国内だけでなく、ヨーロッパの近隣諸国に出かけています。既に、フランクフルト（ドイツ）、アムステルダム（オランダ）、クルージュ・ナポカ（ルーマニア）、トリエステ（イタリア）、ベルゲン（ノルウェー）を訪れました。いずれも、飛行機で数時間と、日本の国内旅行の感覚で行くことができるので、大変ありがたいです。

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 富山県魚津市で生まれ、高校卒業までの18年間、同市で育ちました。現在も、両親と祖母、弟家族、妹家族が魚津市に住んでいるので、年に数回帰省したり、ここ数年は、友人と雄山や大日岳、薬師岳などに登山に出掛けたりしています。また、2016年5月には富山県ひとづくり財団から「第33回とやま賞」をいただきました。

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。



ブライトン・プライドは街を挙げてのイベントで、街中がレインボーカラーで彩られます

A. 私が今住んでいるブライトンは、イギリスの中でも特に多様性を大事にする街です。私にとって長期の海外生活は今回が初めてなのですが、比較的スムーズに物事が進んでいるのも（住まいの不具合の修理にはなかなか来てもらえませんが）、のびのびと生活出来ているのも、その温かな雰囲気のおかげのような気がしています。この雰囲気は、「この土地だから」実現していることではなく、結局は一人ひとりのちょっとした気の持ちようで成り立っているのだと思います。帰国してからも同じようにのびのびと暮らせるよう、自分ができることをしていきたいと思っています。

こんな“国際交流”やっています！

日中平和友好条約締結40周年記念「とやま日中友好の集い」

特定非営利活動法人 富山県日中友好協会（富山市）

～TICから助成した事業をご紹介します～

1953年発足以来、日中両国の国際理解・友好親善の促進に取り組んできた富山県日中友好協会は、様々な友好交流事業、語学普及事業、留学生支援等を活発に展開しています。

日中平和友好条約締結40周年を迎える今年の8月3日には、NHK解説委員の加藤青延氏を迎えて「中国一帯一路構想と東アジア」と題し講演会を開催しました。引き続き開催した記念祝賀会には、県内日中友好団体や県内在住中国人など141名の参加があり、平和友好条約締結の精神を再確認するとともに会員相互の親睦を深めました。京劇、長拳などのアトラクションの披露もあり、会場はおおいに盛り上がりしました。



Lumpia ルンピア

フィリピン出身
ミカエラ エストラダ ジュンタドさん
お薦め料理！



フィリピン人は何かにつけて家族や友達と集まるのが大好きです。集まりにはたくさんの料理が欠かせませんが、ルンピアもそんな時によくふるまわれます。ルンピアは中華料理の影響を受けていて“ルンピア・シャンハイ”とも呼ばれます。甘酸っぱいソースをかけて食べる春巻きのような料理です。多文化社会であるフィリピンらしい料理で、簡単に作れますよ！



～作り方～

1. 【A】の材料をボウルに入れてよく混ぜ合わせる。
2. 春巻きの皮に具をいれて巻く。
3. 鍋に油を熱し、春巻きを揚げる。
(10～12分程度)

※お好みで、ケチャップやチリソース等をかけて食べると美味しいです。
※細く巻き上げると、よりルンピアらしくなります。

～材料～ (8人分)

【A】	
豚ひき肉	1kg
ワケギ(みじん切り)	1/2カップ
ニンジン(みじん切り)	1カップ
タマネギ(みじん切り)	1カップ
パセリ(みじん切り)	1/4カップ
タマゴ	1コ
塩	小さじ1
ガーリックパウダー	小さじ2
黒コショウ	小さじ1/2
春巻きの皮	50枚
サラダ油	3～6カップ

TICからのお知らせ

これからの行事予定

外国人のための防災講習会

10月7日(日)
・講演「かけがえのない命を守るために」
NPO法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之 氏
・災害体験
14:00～17:00 富山国際会議場、四季防災館

アセアン講座 第3回 ～ベトナム～

10月14日(日) 13:30～15:00
(公財)とやま国際センター研修室
「結婚からみえる現代ベトナム社会」
講師：神田外語大学アジア言語学科 教授 岩井 美佐紀 氏

国際交流フェスティバル

11月11日(日) 10:30～16:30 富山駅・CiCビル
外国人カラオケ大会、ロシア語スピーチコンテスト等

国際交流人材バンク通訳者セミナー

11月17日(土) 13:30～16:30 環日本海交流会館 大会議室
「日本人が間違いやすい医療英語表現」
講師：医療通訳士・英語講師 小松 真奈美 氏

日本語ボランティアスキルアップ研修会

11月18日(日) 13:30～16:00 環日本海交流会館 大会議室
「文化言語の多様な子どものことばと心を育てるために」
講師：同志社大学 日本語・日本文化センター
准教授 櫻井 千穂 氏

日本海学講座

11月24日(土) 14:00～15:30 富山県民会館611号室
「とやま方言のしくみと歴史」
講師：広島大学大学院教育学研究科 准教授 小西 いずみ 氏

国旗、民族衣装貸し出します！

世界各国の国旗、民族衣装、ユニセフ視聴覚教材の貸し出しを行っています。詳細はホームページでご覧ください！

国際交流ひろば

富山県国際交流員が、それぞれの文化を楽しくご紹介します！

- 第3回 10月27日(土)「ハンガルのカリグラフィ」
ハンガルの歴史、カリグラフィ体験
- 第4回 12月1日(土)「上海観光」
上海の隠れた観光地を紹介
- 第5回 12月22日(土)「インド文化の紹介」
インドの文化紹介とヨガ体験
- 第6回 3月9日(土)「ロシアのクレープ週間」
クレープ週間の由来、クレープ作り体験

14:00～16:00 環日本海交流会館

※詳しくはホームページをご覧ください。

(公財)とやま国際センター賛助会員募集及び 寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円

団体会員 30,000円

賛助会員、その他のご寄付についてご関心をお持ちの方は、とやま国際センター(076-444-2500)までご連絡ください。